

令和8年度（第72回）福岡県小児保健研究会・母子保健関係者研修会

- ◆ 日 時： 令和8年12月19日（土）15:00～16:30（受付14:30）
- ◆ 会 場： 久留米大学旭町キャンパス 筑水会館 中会議室
- ◆ 対 象： 小児科医、看護師、養護教諭、学校教諭、幼稚園教諭、保育士など小児保健に携わる関係者、保護者及び一般市民
- ◆ 参 加 費： 1,000 円

<プログラム>

15:00 開会あいさつ 福岡県北筑後保健福祉環境事務所

所長（副理事）松尾美智代

15:10 講 演

演 題「不登校支援を通して考える魅力的な学校環境づくりー

ソーシャルワークの観点から」

講 師 岡山県立大学保健福祉学部現代福祉学科福祉臨床講座

講師 池田 敏 氏

座 長 久留米大学医学部小児科学講座 主任教授 水落 建輝



【講師プロフィール】

福岡県立大学人間社会学部社会福祉学科卒業。福岡県立大学大学院人間社会学研究科社会福祉専攻修了。久留米大学大学院比較文化研究科後期博士課程修了。2010年より福岡市教育委員会をはじめ、福岡県内の教育委員会にてスクールソーシャルワーカーとして勤務。2019年からは、福岡市教育委員会にて、全国ではじめて義務標準法にもとづく学校職員である拠点校スクールソーシャルワーカーとして勤務。また、福岡県教育委員会スクールソーシャルワーカー・スーパーバイザーとしても勤務。2024年より久留米大学文学部社会福祉学科助教を経て、現在、岡山県立大学保健福祉学部現代福祉学科講師。福岡県スクールソーシャルワーカー協会理事。
資格 社会福祉士、博士（保健福祉学）

【講演内容】小中学校の不登校児童生徒数は約35万人となっており、過去最多を記録した（文部科学省2026）。他方で、不登校には至っていないものの、別室で過ごしたり、学校が辛いと感じたりしている中学生は約33万人にも上るといいう推計もある（日本財団2018）。不登校支援については、個別的な支援だけでなく、学校環境を整えていく観点が欠かせない。ソーシャルワークの観点から、不登校支援の在り方について考えてみたい。

16:30 閉会あいさつ 久留米市 子ども未来部 部長 馬場 真澄

主 催 福岡県小児保健研究会、福岡県北筑後保健福祉環境事務所、久留米市
後 援 福岡県医師会、久留米医師会、朝倉医師会、小郡三井医師会、浮羽医師会、大川三瀬医師会、福岡地区小児科医会、筑後小児科医会、久留米小児科医会、福岡県教育委員会、公益社団法人 日本小児保健協会、久留米市教育委員会、西日本新聞社

【問合せ】 福岡県小児保健研究会事務局（久留米大学小児科内 医局秘書 藤）
TEL（直通）0942-31-7565

【申込み】 右記QRコードから参加フォームを入力（締切り 12/4（金））
もしくは syounihoken-group@kurume-u.ac.jp へ以下の内容を
明記してお送りください 名前/性別/メールアドレス/所属/職種

*お車でご来場の場合は久留米大学病院駐車場をご利用ください。

